

3月給食だより

北空知圏学校給食センター

春の足音が聞こえ心はずむ3月は、学校での1年を振り返る月でもあります。この1年間の学校生活はどうでしたか。健康に過ごすことができましたか。4月から新しい学年、学校に向けて元気に過ごしましょう。

1年間の給食をふり返ってみよう!

「はい」は →、「いいえ」は ⇨ に進みましょう。

スタート



すききらいなく、ぜんぶ食べられた。



食事の前の手洗いをきちんとできた。



「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをして食べられた。

がんばりましょう。



ちょっと困りました。給食で教わったことを思い出してがんばりましょう。

もうひとがんばり



毎日の給食から、さらにいろいろ学びましょう!

よくできました。



もうひと息で100点です。

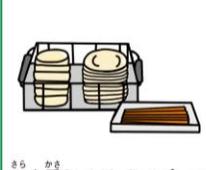
大変よくできました。



みんなのお手本です。これからもがんばってね!



給食当番の仕事をしっかりできた。



皿を重ね、はしやスプーンの向きをそろえて、後片付けができた。



食事のマナーをしっかり守って食べられた。



みんなと楽しく給食が食べられた。



おわんや皿、はしを正しい位置に並べて食べるのができた。



旬の食べ物やふるさとの料理を給食を通して知ることができた。

知っていますか 3月の食文化



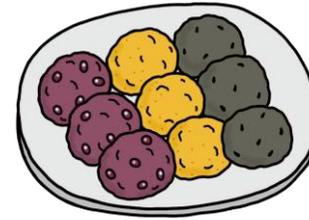
3月は「弥生」といいます。「弥（いや）」には「いよいよ、ますます」、そして、「生（おい）」には草木が芽吹くという意味があります。この「いやおい」が縮まって「やよい」になったといわれます。ひな祭りやお彼岸の行事があり、また卒業のシーズンです。

ひな祭り



女の子の健やかな成長を願う節句のお祭りです。赤・白・緑の3色のひし餅、ちらしずし、はまぐりのお吸い物、ひなあられ、また子どもは飲めませんが白酒などがよく出されます。

お彼岸



春分の日、秋分の日を中日にして前後3日ずつの7日間を「彼岸会」といいます。ご先祖様に感謝し、お墓参りなど仏事を行います。お供え物として「ぼたもち」や「おはぎ」を作ります。

卒業式



入学試験の合格が決まった日や卒業式などには、もち米に小豆やささげを入れて蒸した「赤飯」がよく出されます。昔から赤い色には魔除けの力があるとされ、お祝い事の食事に用いられました。

1年間ありがとうございました。

今年度の給食は、3月23日(月)で終了いたします。1年間を通して、給食はおいしかったですか。みなさんが好む物



ばかりではなく、好き嫌いなさく、何でも食べられるように、いろいろな工夫をしながら、給食は作られています。戻ってくる食缶が空っぽになっていると、調理に関わる人たちにとって、大きな励みになります。来年度も食品や調理過程の安全には細心の注意を払いながら、おいしい給食を提供できるように努めてまいります。

また、卒業生のみなさんには給食を通して出会ったあじのことを忘れずに、学校給食の楽しい思い出とともに、ぜひこれからの生活に生かしていかしてくださいね!

1年間、本当にありがとうございました。